

## 新型コロナウイルス感染症への対応についての意識調査（第3回）

（2021年6月実施）

（一社）経済社会システム総合研究所（IESS）

新型コロナウイルス感染症に対して、我々はこれまでどのように対応し、また、今後どのように対応しようとしているのか。経済社会システム総合研究所では、第3回の意識調査を実施した（2021年5月30日～6月11日にかけて実施）。

今回の調査時期は、新規感染者数が増加し、東京都、大阪府の緊急事態措置の期間延長（5月末までから6月20日までに延長）を含め、10都道府県に緊急事態宣言が出される一方、医療従事者や65歳以上の高齢者への1回目のワクチン接種が進みつつあった時期にあたる（前回調査は昨年11月27日から12月9日に実施）。

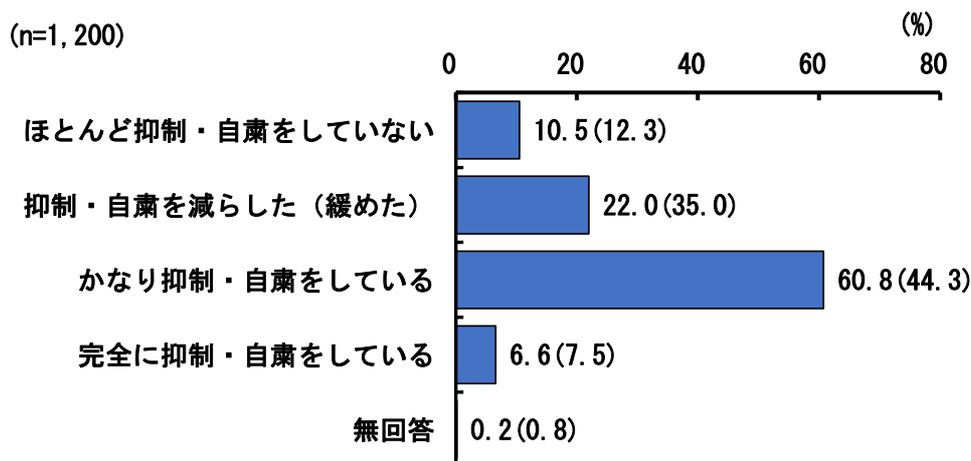
## ＜調査結果＞

## 1. 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況

・・・3人に2人はかなり抑制・自粛している、完全に抑制・自粛していると回答。前回調査に比べ抑制・自粛の割合が増加。

外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況については、かなり抑制・自粛している60.8%、完全に抑制・自粛している6.6%となり、前回調査を上回った。ほとんど抑制・自粛していないは10.5%、抑制・自粛を減らした（緩めた）は22.0%となった。

図表1 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況（回答割合）  
（1つだけ回答）



（注1）カッコ内は前回調査の結果（n=1,200）

（注2）前回調査では、「ほとんど抑制・自粛をしていない」、「抑制・自粛を減らしている」、「まだかなり抑制・自粛している」、「完全に抑制・自粛している」の4つの選択肢から回答を求めた。

地域別にみて、抑制・自粛の取組みに大きな違いはなかった。

図表2 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況（地域別回答割合）  
（1つだけ回答）

(%)

	回答者数 (人)	ほとんど 抑制・自粛 していない	抑制・自粛 を減らした (緩めた)	かなり 抑制・自粛 している	完全に 抑制・自粛 している	無回答
全体	1,200	10.5	22.0	60.8	6.6	0.2
北海道・ 東北	132	15.2	18.9	59.1	6.8	—
関東	444	9.5	24.5	60.4	5.2	0.5
中部・ 北陸	192	9.4	21.9	60.4	8.3	—
近畿	192	8.9	24.0	59.9	7.3	—
中国・四 国・九州	240	12.1	17.5	63.3	7.1	—

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

男女別にみて、取組みに大きな違いはなかった。

年齢別にみると、60歳以上の高齢層では、完全に抑制・自粛している、または、かなり抑制・自粛しているが8割程度と高かった。10歳代、20歳代の若年層は、抑制・自粛を減らした（緩めた）が3割台と高かった。

図表3 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況（性別・年齢別回答割合）  
（1つだけ回答）

(%)

	回答者数 (人)	ほとんど 抑制・自粛 していない	抑制・自粛 を減らした (緩めた)	かなり 抑制・自粛 している	完全に抑 制・自粛し ている	無回答
全体	1,200	10.5	22.0	60.8	6.6	0.2
男 性	592	10.3	22.5	60.6	6.4	0.2
女 性	608	10.7	21.5	60.9	6.7	0.2
15～19歳	74	13.5	33.8	47.3	4.1	1.4
20～29歳	148	9.5	39.9	48.0	2.7	—
30～39歳	187	10.7	25.7	59.4	4.3	—
40～49歳	221	12.2	21.7	59.3	6.8	—
50～59歳	186	16.1	18.8	60.8	3.8	0.5
60～69歳	224	6.7	14.7	72.3	6.3	—
70～79歳	160	6.3	10.0	66.3	17.5	—

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

**職業別**では、自由業や無職では、完全に抑制・自粛しているとの回答が多かった。また、農林漁業や主婦・主夫専業でも、かなり抑制・自粛しているが多かった。他方、現場での仕事が多いとみられる労務・技能職や対面授業が再開されつつあるとみられる学生は、抑制・自粛を減らした（緩めた）との回答が多かった。

**図表4 外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況（職業別回答割合）**  
（1つだけ回答）

(%)

	回答者数 (人)	ほとんど 抑制・自粛 していない	抑制・自粛 を減らした (緩めた)	かなり 抑制・自粛 している	完全に 抑制・自粛 している	無回答
全体	1,200	10.5	22.0	60.8	6.6	0.2
農林漁業	11	9.1	9.1	81.8	—	—
自営・ 商工業	157	9.6	24.8	59.9	5.7	—
自由業	27	7.4	18.5	55.6	18.5	—
管理職	46	15.2	15.2	58.7	10.9	—
事務・ 技術職	214	11.7	24.8	61.2	2.3	—
労務・ 技能職	133	12.8	28.6	56.4	2.3	—
パート・ アルバイト	227	15.0	21.6	59.0	4.4	—
主婦・主夫 専業	140	4.3	14.3	71.4	10.0	—
学 生	106	10.4	35.8	49.1	3.8	0.9
無 職	135	5.2	9.6	67.4	17.0	0.7

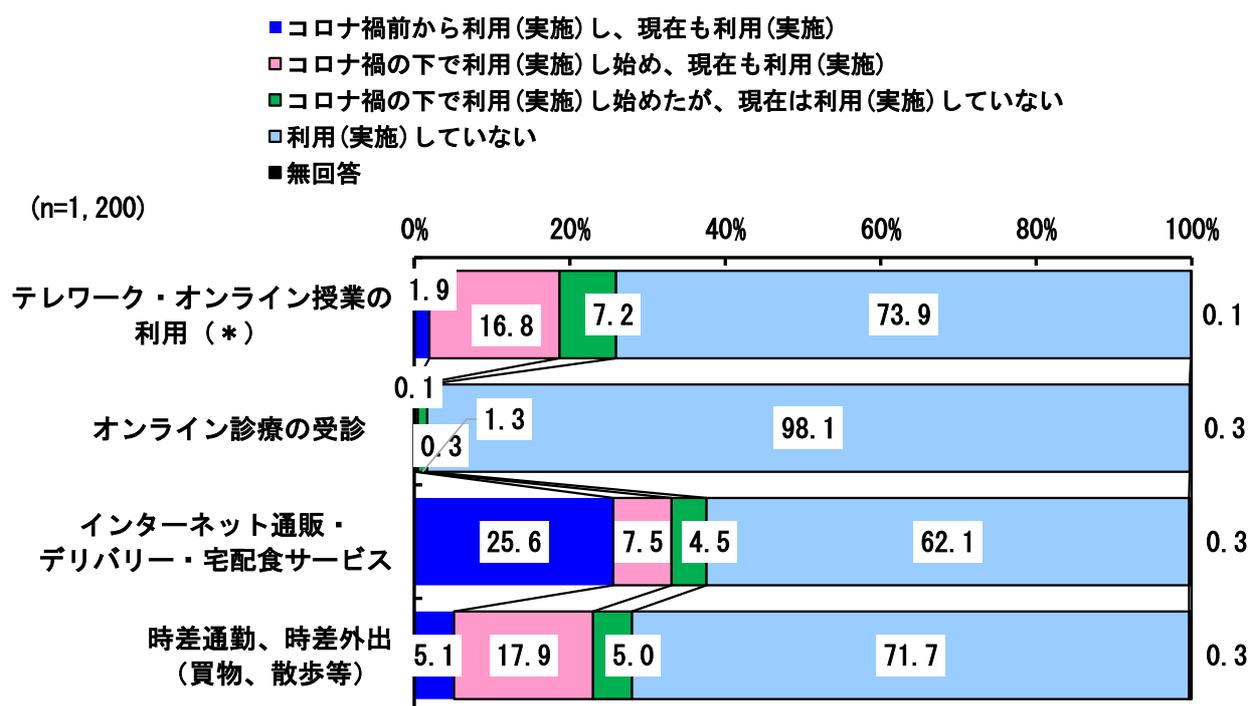
(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

## 2. テレワーク、オンライン授業等の利用(実施)状況

・・・テレワーク、オンライン授業を利用し始め現在も利用している人は16.8%

テレワークやオンライン授業の利用(主婦、無職を除く)は、コロナ禍前から、もしくはコロナ禍の下で利用し始め現在も利用が合わせて18.7%であった。一方で、コロナ禍の下で利用し始めたが現在は利用していないが7.2%を占めた。オンライン診療を利用している人は極めて少数であった。インターネット通販は、現在も利用しているが合わせて3割強となった。時差通勤、時差外出は、現在も実施しているが2割強となった。

図表5 テレワーク、オンライン授業等の利用(実施)状況(回答割合)  
(それぞれ1つだけ回答)



(注)テレワーク・オンライン授業の利用は、主婦、無職を除いた数値(n=925)。

年齢別にテレワーク、オンライン授業の利用状況を見ると、10 歳代、20 歳代では、コロナ禍の下で利用し始め、現在も利用しているとの回答がほぼ3割と他の世代に比べて高かった。10 歳代では、コロナ禍の下で利用し始めたが現在は利用していないが2割を超えたが、これは、学校での対面授業の再開が影響しているものとみられる。

図表6 テレワーク、オンライン授業の利用状況（年齢別回答割合）  
（1つだけ回答）

(%)

	回答者数 (人)	コロナ禍前 から利用 し、現在も 利用	コロナ禍の 下で利用し 始め、現在 も利用	コロナ禍の 下で利用し 始めたが、 現在は利用 していない	利用して いない	無回答
全体	921	2.0	16.8	7.3	73.8	0.1
15～19 歳	74	4.1	27.0	23.0	45.9	—
20～29 歳	138	2.9	29.0	9.4	58.7	—
30～39 歳	162	1.2	14.8	4.9	79.0	—
40～49 歳	196	2.0	14.8	5.1	78.1	—
50～59 歳	164	1.2	12.8	7.9	77.4	0.6
60～69 歳	141	2.1	12.8	4.3	80.9	—
70～79 歳	46	—	6.5	—	93.5	—

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

(注) 主婦、無職、職業無回答を除いた数値。

**職業別**にテレワーク、オンライン授業の利用状況をみると、管理職や事務・技術職でコロナ禍の下で利用し始め、現在も利用している人が多かった。他方、農林漁業、自営・商工業、労務・技能職、パート・アルバイトでは利用していないが8割を超えた。

学生では、現在利用しているが約5割と多かったが、コロナ禍の下で利用し始めたが、現在は利用していないも2割を占めた。

**図表7 テレワーク、オンライン授業の利用状況（職業別回答割合）**  
（1つだけ回答）

(%)

	回答者数 (人)	コロナ禍前 から利用 し、現在も 利用	コロナ禍の 下で利用し 始め、現在 も利用	コロナ禍の 下で利用し 始めたが、 現在は利用 していない	利用して いない	無回答
全体	921	2.0	16.8	7.3	73.8	0.1
農林漁業	11	—	—	—	100.0	—
自営・ 商工業	157	3.8	7.0	4.5	84.7	—
自由業	27	3.7	18.5	7.4	70.4	—
管理職	46	4.3	39.1	19.6	37.0	—
事務・ 技術職	214	1.4	23.8	7.5	67.3	—
労務・ 技能職	133	0.8	5.3	1.5	91.7	—
パート・ アルバイト	227	0.0	6.2	4.4	89.4	—
学 生	106	4.7	46.2	19.8	29.2	—

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

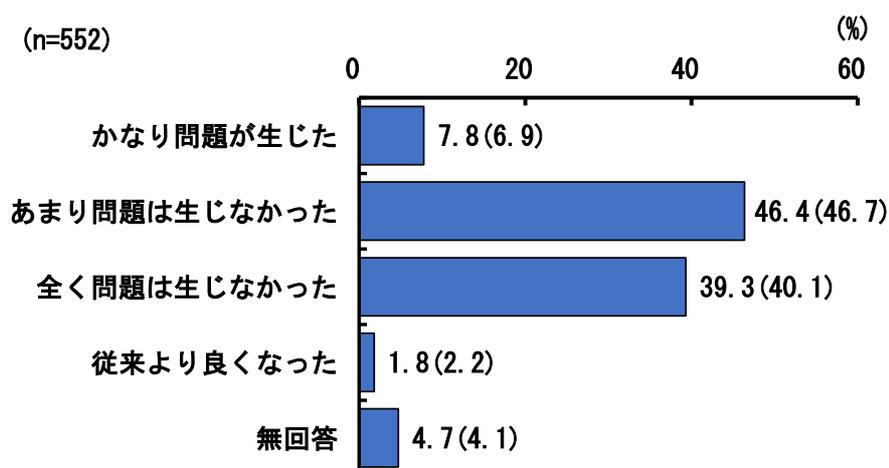
(注) 主婦、無職、職業無回答を除いた数値。

### 3. インターネットの利用によるコミュニケーションへの影響

・・・問題はなかったとする人が多いが、新規の利用者で問題を感じる人も

テレワーク、オンライン授業、インターネット通販などインターネットを利用したことのある人に、そのことによって、意思疎通やコミュニケーションに問題が生じたかを聞いたところ、かなり問題が生じたとの回答は7.8%（前回調査では6.9%、以下、カッコ内は全て同じ）にとどまり、全く生じなかったが39.3%（40.1%）、あまり生じなかったが46.4%（46.7%）と多かった。

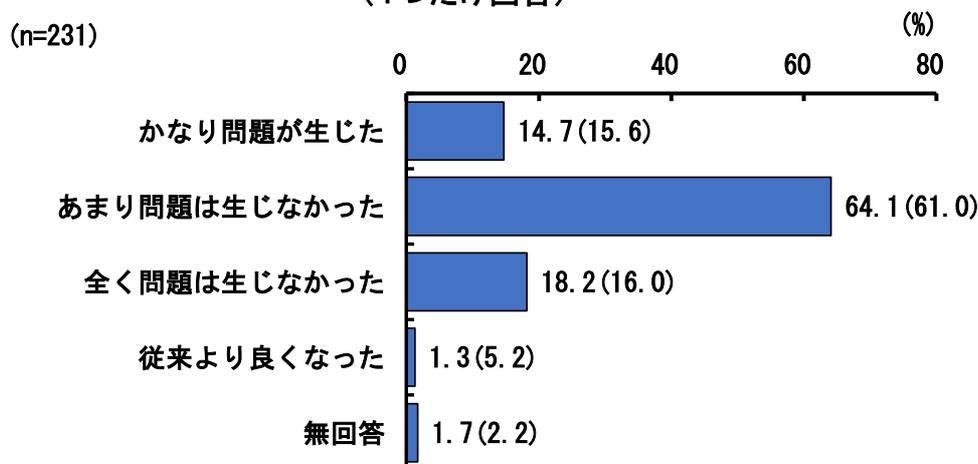
図表8 意思疎通・コミュニケーションへの問題（回答割合）  
（1つだけ回答）



（注）カッコ内は前回調査の結果（n=724）

コロナ禍の下でテレワーク、オンライン授業を利用しはじめた人に絞って、回答をみると、かなり問題が生じたとの回答が14.7%（15.6%）と、全体（上記）に比べ高かった。

図表9 意思疎通・コミュニケーションへの問題（回答割合）  
（1つだけ回答）



（注）カッコ内は前回調査の結果（n=231）

#### 4. 在宅時間が長くなったことによる家族への思いの変化（同居家族のいる人のみ）

……家族の絆の大切さを感じる人がいる一方、女性にはストレスも

在宅時間が長くなったことによる家族への思いの変化については、家族への思いに特に変化はないが 68.2% (66.7%)、家族の絆やつながりの大切さを感じたが 13.7% (16.7%)であったのに対して、ストレスを感じたとする回答が 16.5% (14.3%)を占めた。

性別・年齢別にみると、女性は2割近くがストレスを感じたとし、特に、10歳代と30歳代～50歳代でその割合が高かった。男性では女性に比べ、ストレスを感じたという回答は少なかった。

図表 10 在宅時間が長くなったことによる家族への思いの変化（性別・年齢別回答割合）  
（1つだけ回答）

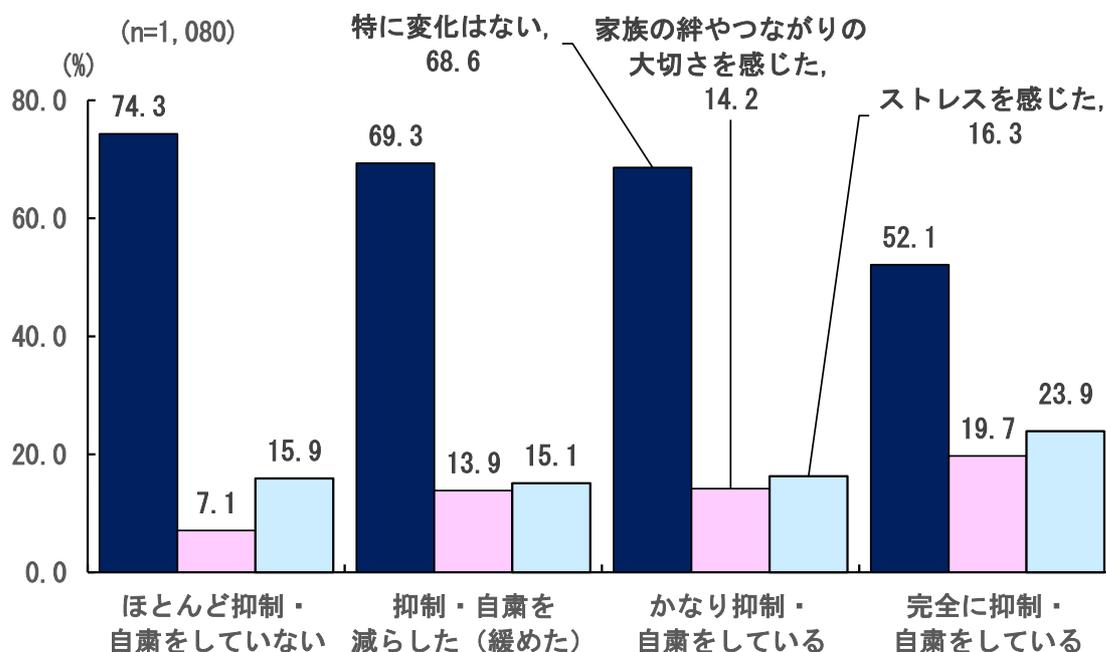
(%)

	回答者数 (人)	特に変化 はない	家族の絆や つながりの 大切さを感じた	ストレスを 感じた	無回答
全体	1,080	68.2	13.7	16.5	1.6
男性	532	71.4	13.7	13.7	1.1
15～19歳	36	72.2	8.3	19.4	—
20～29歳	56	66.1	14.3	19.6	—
30～39歳	85	64.7	15.3	16.5	3.5
40～49歳	106	69.8	20.8	9.4	—
50～59歳	85	75.3	12.9	11.8	—
60～69歳	96	75.0	12.5	10.4	2.1
70～79歳	68	76.5	5.9	16.2	1.5
女性	548	65.1	13.7	19.2	2.0
15～19歳	36	61.1	11.1	22.2	5.6
20～29歳	65	81.5	7.7	10.8	—
30～39歳	88	54.5	18.2	25.0	2.3
40～49歳	108	55.6	19.4	25.0	—
50～59歳	86	61.6	12.8	22.1	3.5
60～69歳	94	74.5	11.7	12.8	1.1
70～79歳	71	71.8	9.9	14.1	4.2

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

上記1で示した「外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況」についての回答別に、在宅が長くなったことによる家族への思いの変化をみると、完全に抑制・自粛をしている人では、家族の絆やつながりの大切さを感じたとの回答割合、ストレスを感じたとの回答割合がともに高かった。

図表 11 在宅時間が長くなったことによる家族への思いの変化  
(外出や通勤、営業等の抑制・自粛の状況別)

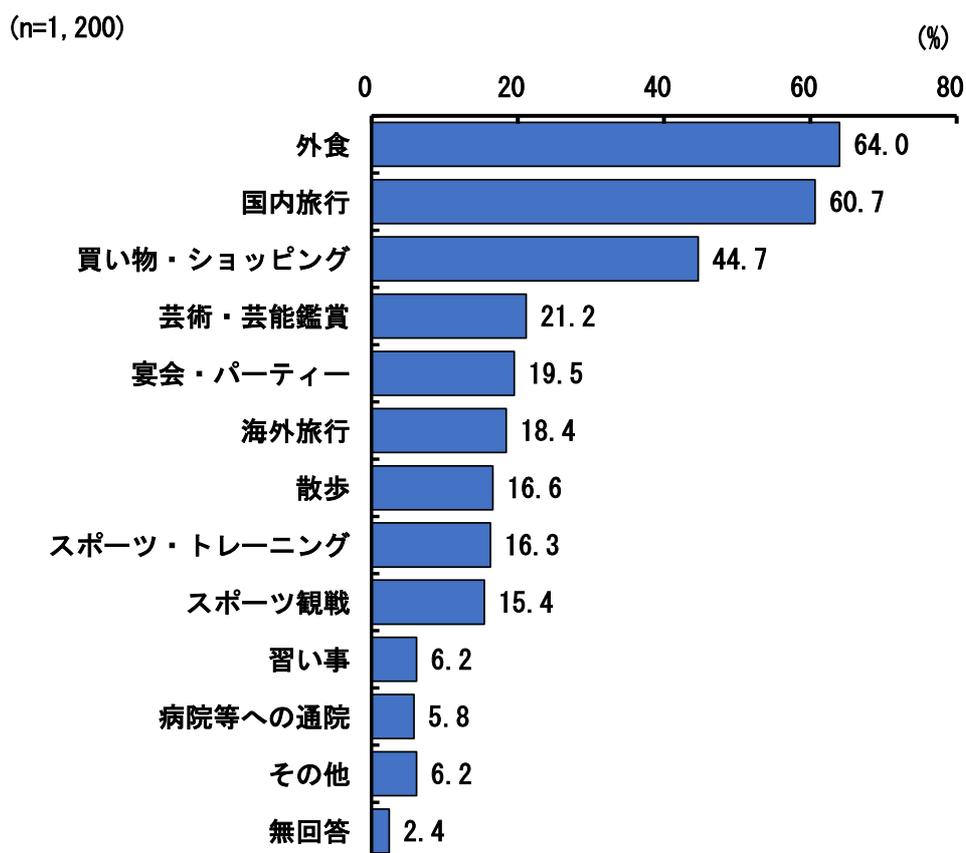


## 5. コロナ危機が収まった後、増やそうと思う活動

・・・外食、国内旅行、買い物・ショッピングなどの活動が上位

今回の調査では、**コロナ危機が収まった後、増やそうと思う活動**について質問を行った。結果をみると、外食、国内旅行を挙げた人は6割を超え、買い物・ショッピングは4割を超えるなど、コロナ後には消費を増やしたいとする人がかなりの割合となった。他方、これらに比べ、海外旅行やスポーツ観戦などを挙げた人は少なかった。

図表 12 コロナ危機が収まった後、増やそうと思う活動（回答割合）  
（いくつでも回答、降順）



（注）前回調査では設問をしていない

性別で見ると、外食、国内旅行、買い物・ショッピング、芸術・芸能鑑賞などで、女性が男性を大きく上回った。

年齢別にみると、外食や国内旅行は多くの年齢層で6割前後となった。

図表 13 コロナ危機が収まった後、増やそうと思う活動（性別・年齢別回答割合）  
（いくつでも回答）

(%)

	回答者数(人)	外食	国内旅行	買い物・ショッピング	芸術・芸能鑑賞	宴会・パーティー	海外旅行	散歩	スポーツ・トレーニング	スポーツ観戦	習い事	病院等への通院	その他	無回答
全体	1,200	64.0	60.7	44.7	21.2	19.5	18.4	16.6	16.3	15.4	6.2	5.8	6.2	2.4
男性	592	59.6	55.2	36.5	13.0	22.6	16.0	17.6	21.1	18.6	2.7	6.3	6.4	3.0
女性	608	68.3	66.0	52.6	29.1	16.4	20.7	15.6	11.5	12.3	9.5	5.4	5.9	1.8
15～19歳	74	59.5	52.7	64.9	17.6	29.7	20.3	8.1	25.7	23.0	2.7	—	9.5	2.7
20～29歳	148	59.5	63.5	45.9	19.6	19.6	33.1	9.5	14.9	14.9	6.8	1.4	7.4	4.1
30～39歳	187	64.7	68.4	49.2	24.1	24.1	19.8	12.3	17.6	18.7	10.7	4.3	5.9	1.1
40～49歳	221	71.0	58.8	41.6	21.3	22.6	17.6	16.7	21.3	19.0	4.1	6.3	7.2	1.4
50～59歳	186	65.6	59.7	35.5	22.0	18.8	13.4	11.3	18.8	18.3	4.8	6.5	5.4	3.2
60～69歳	224	62.1	67.0	42.0	21.9	17.0	18.8	19.2	10.3	10.3	4.5	5.4	4.9	1.8
70～79歳	160	60.6	47.5	47.5	18.8	9.4	8.8	34.4	10.0	7.5	8.8	13.8	5.0	3.8

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

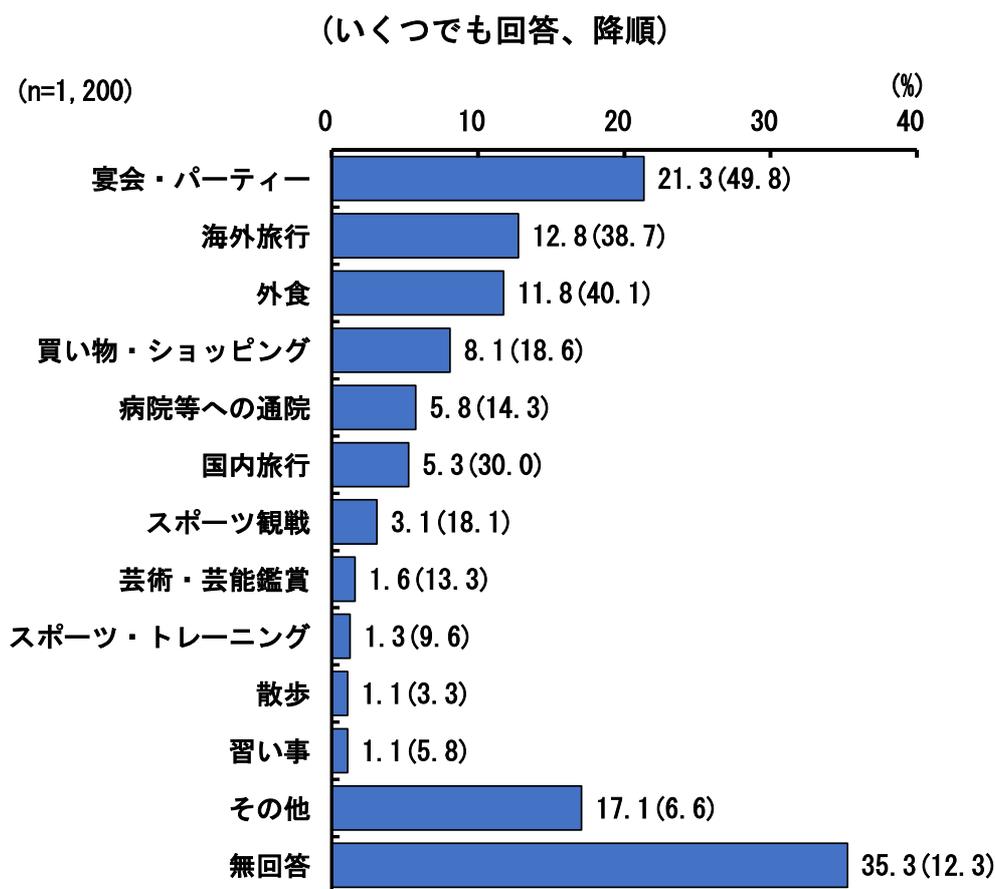
## 6. コロナ危機が収まった後も、従来と比べて減らそうと思う活動

・・・従来と比べ減らすという回答割合は大きく低下

上記5の問とは逆に、**コロナ危機が収まった後も、従来と比べて減らそうと思う活動**について、調査したところ（前回、前々回の調査でも実施）、多くの活動で減らすという回答の割合が前回までと比べ低下した。これは、コロナワクチンの接種が進みつつあることに加え、設問の構成を変えた（前回までとは異なり、今回の調査では、上記5で「増やそうと思う活動」について質問した）ことが影響している可能性があると思われる。

活動別にみると、宴会・パーティーが2割強で最も高かったが、前回調査の半分以下となった。海外旅行や外食は1割強と、前回調査の1/3以下となった。

図表 14 コロナ危機収束後も従来と比べて減らそうと思う活動（回答割合）



(注) カッコ内は前回調査 (n=1,200)

年齢別にみると、各年齢層で前回調査に比べ回答割合が低下したが、ワクチン接種が他世代より早く進みつつある60歳代、70歳代では、多くの活動に関して回答割合が大きく低下した。

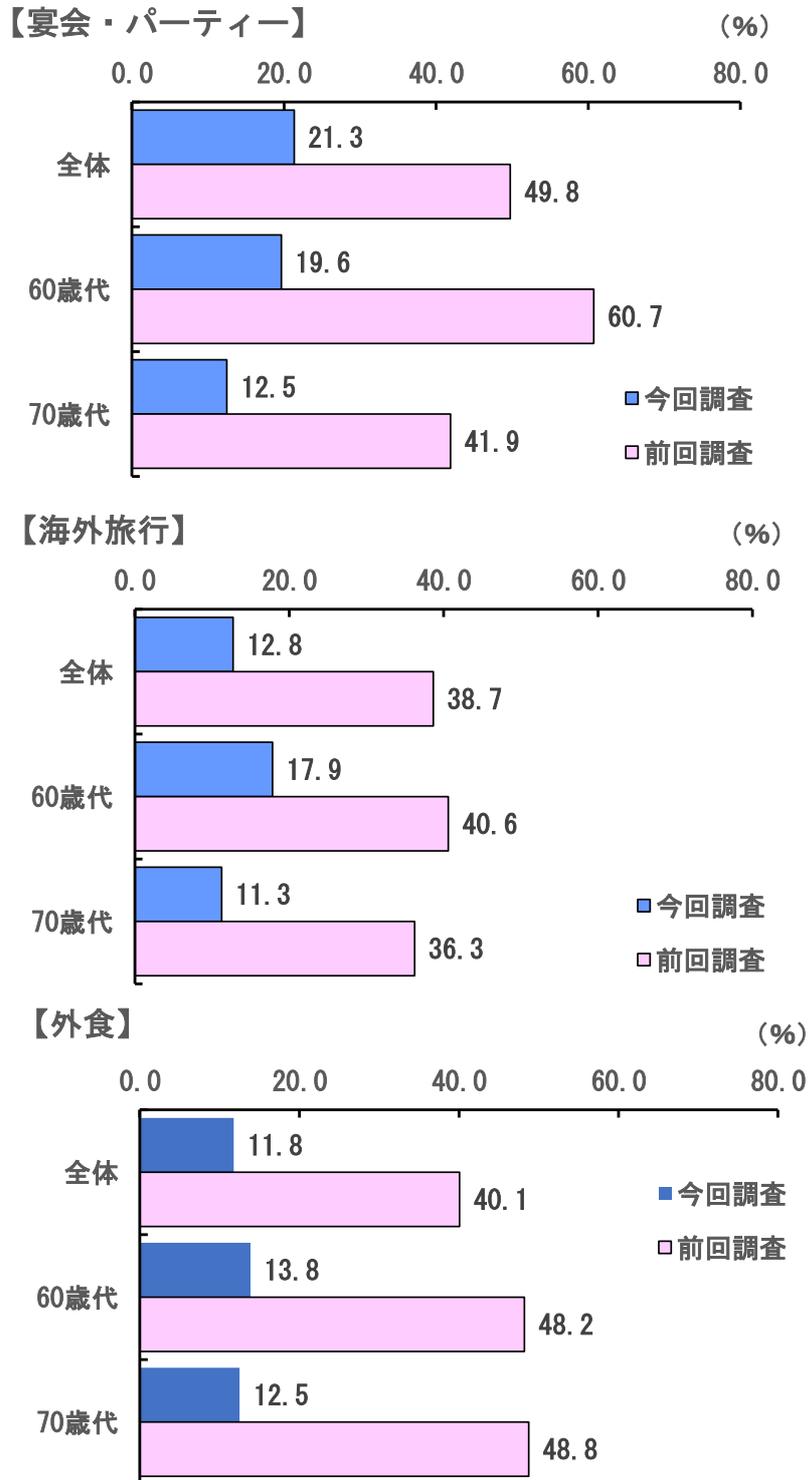
図表 15 コロナ危機収束後も従来と比べ減らそうと思う活動（年齢別回答割合）  
（いくつでも回答）

(%)

	宴会・パーティー	海外旅行	外食	買い物・ショッピング	病院等への通院	国内旅行	スポーツ観戦	芸術・芸能鑑賞	スポーツ・トレーニング	散歩	習い事	その他	無回答
全体 n=1,200	21.3 (49.8)	12.8 (38.7)	11.8 (40.1)	8.1 (18.6)	5.8 (14.3)	5.3 (30.0)	3.1 (18.1)	1.6 (13.3)	1.3 (9.6)	1.1 (3.3)	1.1 (5.8)	17.1 (6.6)	35.3 (12.3)
15～19歳 n=74	17.6 (31.1)	9.5 (39.2)	9.5 (31.1)	2.7 (17.6)	4.1 (14.9)	2.7 (24.3)	4.1 (18.9)	2.7 (8.1)	1.4 (2.7)	4.1 (1.4)	－ (4.1)	20.3 (13.5)	40.5 (14.9)
20～29歳 n=148	17.6 (45.9)	5.4 (33.8)	9.5 (35.1)	6.1 (15.5)	4.7 (11.5)	4.1 (24.3)	4.1 (10.8)	1.4 (7.4)	1.4 (6.1)	0.7 (3.4)	－ (－)	23.0 (6.1)	38.5 (12.2)
30～39歳 n=187	26.2 (46.5)	18.2 (41.7)	8.0 (32.1)	9.1 (15.0)	8.6 (15.0)	2.7 (30.5)	3.2 (16.0)	0.5 (16.0)	－ (5.9)	1.6 (3.7)	0.5 (3.2)	11.2 (7.5)	33.2 (13.9)
40～49歳 n=221	24.4 (53.8)	10.9 (44.8)	12.2 (38.9)	9.0 (19.5)	4.1 (14.5)	3.6 (32.6)	4.1 (16.3)	1.8 (13.1)	－ (8.6)	－ (0.5)	1.4 (4.5)	20.8 (5.0)	33.0 (10.4)
50～59歳 n=186	26.9 (52.2)	11.8 (31.7)	14.5 (39.8)	4.3 (15.6)	7.0 (19.4)	8.1 (28.0)	3.2 (21.0)	1.6 (13.4)	2.2 (11.3)	－ (2.7)	1.1 (7.0)	17.2 (7.5)	32.3 (14.5)
60～69歳 n=224	19.6 (60.7)	17.9 (40.6)	13.8 (48.2)	9.8 (24.6)	4.5 (13.4)	5.8 (33.0)	2.7 (21.4)	1.8 (16.5)	2.7 (15.2)	1.3 (1.8)	2.2 (8.0)	16.5 (4.5)	33.9 (10.3)
70～79歳 n=160	12.5 (41.9)	11.3 (36.3)	12.5 (48.8)	11.9 (20.0)	6.9 (11.3)	8.8 (31.9)	0.6 (21.3)	1.9 (13.1)	1.3 (11.9)	1.9 (10.0)	1.3 (12.5)	12.5 (6.9)	40.6 (11.9)

(注) カッコ内は前回調査

図表 16 コロナ危機収束後も従来と比べ減らそうと思う活動（上位3項目）  
（全体・60歳代・70歳代、前回調査との比較）



## <調査方法>

- 対象地域：全国
- 対象者：15～79歳の男女個人1,200人（1地点6人×200地点）。
- サンプリング：住宅地図データベースから世帯を抽出し、母集団（住民基本台帳）の性別、年齢別、居住地別の分布に合わせて個人を割り当て
- 調査期間：〔開始〕2021年5月30日(日)～〔終了〕同年6月11日(金)
- 調査手法：訪問留置調査（調査員が対象者を個別訪問して回答を依頼、1,200人回収するまで継続）
- 調査属性：性・年齢、職業（本人・世帯主）、年収（世帯・個人）、未既婚、学歴、家族形態、等
- 実査会社：株式会社日本リサーチセンター

## <回答者の分布（居住地域、性別、年齢別）>

### 《居住地域》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比（%））

全体	北海道・東北	関東	中部・北陸	近畿	中国・四国・九州
1,200	132	444	192	192	240
100.0	11.0	37.0	16.0	16.0	20.0

### 《性別》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比（%））

全体	男性	女性
1,200	592	608
100.0	49.3	50.7

### 《年齢別》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比（%））

全体	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳
1,200	74	148	187	221	186	224	160
100.0	6.2	12.3	15.6	18.4	15.5	18.7	13.3

## <引用について>

本調査の結果を引用される際は、出典として（一社）経済社会システム総合研究所と明記されたい。